

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月19日		記入者	内線	756-3443
部名	生涯学習部	課名	総合学習センター	課長名	小川紳夫
事務事業名	生涯学習推進員(非常勤特別職職員)経費				
予算上の事務事業名	生涯学習推進員経費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		15120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第5章 いきいきとした生涯学習社会をつくります				
基本施策名	第1節 生涯学習の推進				事業開始年度
施策名	第2施策 生涯学習活動の支援				平成13年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
生涯学習推進員設置要綱					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 窓口・相談 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
市民の学習ニーズに応えた相談や情報提供を行うとともに、学習の場として提供とする施設の利用受付と設備案内などを行い、市民の自発的な生涯学習活動を支援し、生涯学習社会の実現を目指す。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
学習相談件数：454件 利用件数：3,888件 図書室利用者数：1,269人 推進員全体会の開催：月1回 勤務時間：9：00～16：00、16：00～22：00の交替勤務 推進員数：18名					
6 関連・類似事業や他市の状況					
直営で管理運営を行っている施設は多い。直営継続534施設(平成17年2月現在：行政システム課政策会議資料) 相談業務には専門員を設置している自治体が多い。					
7 事業費の推移 [単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	15,971	16,139	16,115	16,145	16,145
一般財源	15,971	16,139	16,115	16,145	16,145
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	839	801	807	807	807
事業コスト合計(a)	16,810	16,940	16,922	16,952	16,952
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	施設利用事業			対象名称(単位)	利用件数(件)
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	16,810	16,940	16,922	16,952	16,952
対象数	3,763	4,061	3,888	4,000	4,000
単位あたり経費(円)	4,467	4,171	4,352	4,238	4,238
前年度比		0.93	1.04	0.97	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	学習相談実施件数		指標式と指標の説明	相談件数 / 目標件数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	466.0	476.0	454.0			
目標	700.0	700.0	700.0	700.0	700.0	
目標達成度	0.67	0.68	0.65			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	学習相談終結率		指標式と指標の説明	終結相談数 / 実施相談数 * 100		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	94.4	97.9	98.9			
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
目標達成度	94.4	97.9	98.9			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 [A:妥当である・B:妥当性に課題がある・C:妥当でない]						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 [A:有効である・B:有効性を高める余地がある・C:有効でない]						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 [効率が良い・B:効率性を高める余地がある・C:効率が悪い]						
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 [有・無]						
有	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価(今後の方向性)			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		自発的な学習への関心や学習・教育相談への支援は更に充実していく必要から、生涯学習推進員の資質の有効活用について検討する。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
センターの目的、生涯学習推進員の職務の見直し、学社連携融合を活動目的とするNPOの育成等により、指定管理者制度の導入を検討する。			生涯学習推進員の資質の向上、更新期間5年の有効性			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価(今後の方向性)			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		市民と行政との協働により、事業効果を高める。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				